

令和5年度（2023年度）
函館市社会学級活動のまとめ



函館市教育委員会
函館市社会学級生連絡協議会

発刊にあたって

函館市社会学級は、市民がよりよい家庭生活、社会生活を築き、教養と知識、技術等を学び合う成人教育の場として開設されてから77年目を迎えました。

令和2年度から、長きに渡り新型コロナウイルス感染症の影響が続いておりましたが、今年度5月から感染法上の位置付けが5類へ移行されたことにより厳しい行動制限がなくなり、活発な社会活動が再開されたところでもあります。

今年度の社会学級は、市内の小中学校13学級において開設され、202名の学級生が全体講座で教養を高め、自らの資質の向上に取り組み、充実した学びを展開してきました。

このたび、令和5年度(2023年度)の各学級における学習活動等の成果を「社会学級活動のまとめ」として発刊することとなりました。

本書が今後の社会学級活動の充実と、学級生相互の理解を深められる資料として広く活用されることを期待いたします。

令和6年3月

函館市教育委員会
函館市社会学級生連絡協議会

目次

1	令和5年度函館市社会学級開設要項.....	1
2	社会学級開設校一覧.....	2
3	各学級の活動報告.....	3
	青柳小学校…3 千代田小学校…4 本通小学校…5 本通中学校 …6	
	八幡小学校…7 桔梗小学校 …8 赤川小学校…9 中央小学校 …10	
	鍛神小学校…11 東山小学校 …12 深堀小学校…13 日吉が丘小学校…14	
	旭岡小学校…15	
4	ブロック交流活動（函館市社会学級生連絡協議会事業）.....	16
5	見学体験学習（函館市社会学級生連絡協議会事業）.....	18
6	函館市社会学級生連絡協議会.....	19
	(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員	
	(2) 活動報告	
	(3) 事業報告	
7	社会学級クラブ活動一覧.....	21
8	函館市社会学級生連絡協議会規約.....	22
9	社会学級のあゆみ.....	24

1 令和5年度函館市社会学級開設要項

- 1 趣 旨 社会学級は、地域住民が自らの意思によって加入し、全体講座を通して主体的に学ぶことにより、教養と知識・技術等を学び合う成人教育の場として、教育委員会の求めに応じ、市立小・中学校長が開設し、社会学級開設校（以下「開設校」という。）と社会学級生連絡協議会が責任をもって運営を行う。
- 2 主 催 函館市教育委員会
- 3 開設期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
- 4 開設校 市立小・中学校13校
- 5 社会学級生 開設校の校区内に住所を有する成人等（以下「学級生」という。）
- 6 社会学級の目標
- (1) 地域社会の一員として、地域づくり・学校支援等に協力する。
 - (2) 全体講座を主として、学級生が協力し合いながら自己教育・相互教育となるような学習に取り組み、クラブ活動への参加のみに限定することがないように努める。
 - (3) 全体講座の実施について、他の学級と合同で行うなど、開設校および社会学級主事が協力・工夫をし、社会学級の活性化につながる活動を展開する。
- 7 社会学級主事の設置と役割
- (1) 開設校に社会学級主事を置く。
 - (2) 社会学級主事は、学校長の推薦により、教育委員会が委嘱する。
 - (3) 社会学級主事は、学級生とともに社会学級の運営を行い、必要に応じ学級生に対し、指導・助言を行う。
 - (4) 社会学級主事は、教育委員会との連絡事務を行うとともに、活動について把握し、適切な内容であることを確認のうえ、講座実施報告書を教育委員会へ提出する。
 - (5) 社会学級主事の報酬は、年額10,000円とする。
- 8 学級運営上の留意点
- (1) 社会学級の運営については、学級生と社会学級主事が協力しながら自主的に行う。
 - (2) 謝礼金を必要とする外部講師による講座を実施した場合は、1年度につき1学級ごとに1回5,000円を限度に教育委員会が負担する。
 - (3) 講座の講師謝礼金は、教育委員会において講座実施報告書を精査し、支払対象となる場合は、講師の指定する金融機関口座へ謝礼金を振り込むものとする。
- 9 その他 家庭・社会生活の向上に寄与することを目的として、社会学級生連絡協議会を組織する。

2 社会学級開設校一覧

令和6年2月19日現在

ブロック	学級名	校長名	社会学級主事名	職名	学級長	学級生数(人)			
						男	女	計	
1 ブロック	1	青柳小学校	須田 晃至	松本 秀昭	教頭	野澤 信子	0	12	12
	2	千代田小学校	石川 朋実	山形 圭亮	教頭	山本 幸子	1	11	12
	3	本通小学校	小濱 誠	伊藤 圭	教頭	高橋 恵美子	9	20	29
	4	本通中学校	仲井 靖典	葛西 広治	教諭	坂井 恵・小林 久美子	0	7	7
	5	八幡小学校	寺本 公彦	小林 郁	教頭	赤塚 留美子	3	6	9
	6	桔梗小学校	近江 辰仁	阿部 辰峰	教頭	金澤 りさ	0	40	40
2 ブロック	7	赤川小学校	齊藤 精克	海野 優	教頭	坂田 健治	5	6	11
	8	中央小学校	西田 直	村上 兼人	教頭	原田 由紀子	1	6	7
	9	鍛神小学校	三上 泰司	川瀬 健	教頭	浅川 安公子	0	14	14
	10	東山小学校	永井 貴之	鈴木 健二	教頭	倉崎 由衣子	5	9	14
	11	深堀小学校	島 修一	保坂 大樹	教頭	多田 成敏	11	7	18
	12	日吉が丘小学校	中田 裕治	田邊 奨	教諭	渡邊 圭子	0	19	19
	13	旭岡小学校	高井 真浩	中森 豊	主幹教諭	安藤 邦雄	3	7	10
計							38	164	202

3 各学級の活動報告

青柳小学校社会学級（学級生 12名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	松本 秀昭	教頭
2	6	認知症サポーター養成講座	講話	小林 由佳子	保健師
3	7	市立函館博物館企画展 「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	内田 彩葉	学芸員
4	8	エンボス加工実習教室	習熟	菊地 則子	エンボス加工講師
5	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道 国際協力推進員
6	10	市役所出前講座「ごみの減量化・再資源化」	講話	佐藤 弘康 竹内 裕	函館市環境部環境推進課 主査・主任
7	11	市役所出前講座「こんなにあるんです 私の街の文化財」	講話	奥野 進	函館市教育委員会 生涯学習部文化財課 主査
8	3	閉講式	講話	松本 秀昭	教頭

【令和5年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○6月 「認知症サポーター養成講座」受講

○日 時 6月8日（木）11:00～12:00

○場 所 青柳小学校視聴覚室

○参加者 11名

◎講師に保健師の小林由佳子氏を迎え、認知症についての講話をしていただきました。早期発見、早期検診、早期治療の重要性や、人との会話や音読の効果について学びました。認知症になっても安心して暮らせる街づくりを、目指していきたいと思いました。

○7月 企画展「外国人が見たみなとまちHAKODATE」見学

○日 時 7月27日（木）10:00～12:00

○場 所 市立函館博物館

○参加者 10名

◎学芸員の内田彩葉氏に、箱館開港によって訪れた外国人との関わりについて解説していただきました。当時の外国人の優しさや、箱館人の心の広さに感銘を受けました。



○8月 エンボス加工実習教室

○日 時 8月31日（木）10:00～12:00

○場 所 青柳小学校図書室

○参加者 9名

◎講師に菊地則子氏を迎え、銅板風の板に釘で加工を施す「エンボス加工」を体験させていただきました。彫金師になった気分を味わうことができ、皆が作業に没頭していました。



<活動のまとめ>

○今年は、上記の他に二つの出前講座「ごみの減量化・再資源化」「こんなにあるんです 私の街の文化財」も開講するなど、多様な活動を企画・実施することができました。次年度も、更に魅力ある講座を開設していきたいと思っております。

千代田小学校社会学級（学級生12名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	石川 朋実	校長
2	5	牛乳パックで作る便利グッズ	習熟	棚上 宮子	社会学級生
3	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道 国際協力推進員
4	9	社会学級生フェスティバル（ソフトバレー交歓会）	習熟	-	-
5	10	パークゴルフを楽しむ	野外活動	田口 順子	社会学級生
6	3	閉講式	講話	石川 朋実	校長

【令和5年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

【牛乳パックで作る便利グッズ】

日時 5月31日（水）14：00～
場所 千代田小学校視聴覚室
参加者 4名
概要 牛乳パックを四角に切って布を貼り、ビニール袋を入れて持ち運べる便利グッズを作りました。みんなで楽しく、おしゃべりをしながら作業することができました。



【スポーツ交流】

日時 9月25日（月）10：00～
場所 函館アリーナ（サブアリーナ）
参加者 7名
概要 鍛神小学校と合同で2チームを作り、メンバーを入れ替えながらソフトバレーの試合を行いました。昨年より白熱した試合ができて、時間が短く感じられるほど楽しく充実した時間を過ごすことができました。

【パークゴルフを楽しむ】

日時 10月25日（水）10：00～
場所 陣川パークゴルフ場
参加者 4名
概要 天気がよく暖かい日で気持ちよくプレーができました。陣川のパークゴルフ場は起伏のあるホールが多く、とてもよい運動になりました。

＜活動のまとめ＞

今年も人数が少ない中でのスタートでしたが、何とか活動を続けてきました。後半は学級生が増えたこともあり、楽しく活気のある中で活動ができました。次年度は楽しい講座を企画し、学級生同士の親睦が深まるように活動していきます。

本通小学校社会学級（学級生29名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	伊藤 圭	教頭
2	4	スポーツ教室	習熟	金澤 由美子	社会学級生
3	6	函館市青函連絡船記念館 摩周丸 見学	見学	-	-
4	7	見学体験学習 市立函館博物館企画展 「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	-	-
5	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道 国際協力推進員
6	11	ヨガ	習熟	山廣 恵美	ヨガインストラクター
7	3	スポーツ交流会	習熟	-	-
8	3	閉講式	講話	伊藤 圭	教頭

【令和5年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

4 月 実習実技「スポーツ教室（ミニバレー，バドミントン）」

日 時 4月26日（水）15：00～17：00

場 所 本通小学校体育館

参加者 10名

ラジオ体操の後，軽いストレッチをして身体をほぐし，各部長よりミニバレー，バドミントンのルール説明を受けました。その後，サーブ，レシーブの基本動作を学び，チームに分かれてそれぞれのゲームをしました。初めてミニバレーを体験した方は，思った以上に上手にボールを返すことができ，またやりたいと言っておりました。

6 月 講座「摩周丸と函館の歴史について」

日 時 6月22日（木）

場 所 函館市青函連絡船記念館摩周丸

参加者 4名

ガイドさんからとても丁寧に青函連絡船の歴史の説明と摩周丸館内の案内をして頂きました。連絡船の本業は貨物輸送でフェリーや航空機が一般化するまで北海道と本州の物資を運ぶ大切な役割でした。また，修学旅行や就職のため本州との行き来にも必ず利用する交通手段でした。とても懐かしい思いで見学しました。



6月 摩周丸見学

<活動のまとめ>

今年度はコロナも5類になり，上記以外に函館市立博物館の見学や国際協力（SDGs）の話なども聞くことができ，見聞を広め学ぶ機会が増えました。また，会員同士の交流が更に深まりました。



11月 ヨガ教室（本通小体育館）

本通中学校社会学級（学級生 7 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	仲井 靖典	校長
2	5	節分の色紙作り	実習実技	山田 ひろみ	社会学級生
3	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道 国際協力推進員
4	10	社会学級生フェスティバル（手工芸作品展）	その他	-	-
5	12	クリスマススワッグ作り	実習実技	山上 明美	北海道フラワー装飾 一級技能士
6	2	ミニチュアフレーム作り	実習実技	坂井 恵	社会学級生
7	3	閉講式	講話	大山 裕之	教頭

【令和 5 年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 社会学級フェスティバル～作品展～

日 時 10月26日(木)11:00～16:00
場 所 亀田交流プラザ 3F 大会議室 3B
参加校 本通中学校 桔梗小学校
鍛神小学校(体験コーナー)
内 容 コロナ禍で中断していた作品展を
音楽発表会と同時開催しました。
初めての会場で準備が大変でしたが、
三校で協力して展示できました。



○ クリスマススワッグ作り

日 時 12月8日(金)10:00～12:00
場 所 本通中学校 PTA ルーム 参加者 7名
内 容 ドイツ語で壁飾りの意味「スワッグ」体験でした。
常緑樹のスギ、ヒバ、ユーカリを使用しました。
飾りを変えるとお正月飾りにもなるとのことでした。
ユーカリの香りがさわやかで癒されました。



<活動のまとめ>

今年は講座で作った作品を作品展で披露することができ、本当に良かったです。
次年度も本通中学校はじめ関係者の皆様のご協力をいただきながら、手芸は勿論、
学習会や見学等の講座も企画して充実した活動をしていきたいと思ひます。

八幡小学校社会学級（学級生 9 名）

回	月	学習テーマ	習法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	小林 郁	教頭
2	6	道立函館美術館「新・山本二三展」	鑑賞	赤塚 留美子	社会学級生
3	7	見学体験学習 市立函館博物館企画展 「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	-	-
4	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道国際協力推進員
5	11	1ブロック交流会 道立函館美術館 「写真展 岩合光昭の日本ねこ歩き」	鑑賞	-	-
6	3	閉講式	講話	小林 郁	教頭

【令和 5 年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○6月 「新・山本二三展」鑑賞

○日時 6月3日（土） 11:00～11:30

○場所 道立函館美術館

○参加者 4名

◎アニメーション界を代表する背景画家の作品を鑑賞する。

○7月 見学体験学習 「市立函館博物館見学」

○日時 7月26日（水） 10:00～11:00

○場所 市立函館博物館

○参加者 3名

◎企画展「外国人が見たみなとまちHAKODATE展」を鑑賞する。自分達の暮らす街の歴史を学ぶ機会になりました。

○9月 社会学級講演会 「私たちにもできる国際協力」

○日時 9月4日（月） 10:00～11:30

○場所 函館市民会館小ホール

○参加者 4名

◎JICAが活動している分野や種類について、またSDGsの目標について興味をもって聞きました。

<活動のまとめ>

◎今年度も新型コロナの感染防止に努めながら、事業参加、講座を聞くことができました。次年度も予防対策をしながら会員のみなさんが楽しく学べるような講座を開設していきたいと思えます。

桔梗小学校社会学級（学級生40名）

回	月	学習テーマ	習法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	阿部 辰峰	教頭
2	6	道立函館美術館「新・山本二三展」	鑑賞	-	-
3	7	ミニチュアフレームづくり	実習	小林 裕美子	社会学級生
4	7	見学体験学習 市立函館博物館企画展「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	-	-
5	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道 国際協力推進員
6	9	ポーセラーツ	実習	広田 美保	ポーセラーツ教室 講師
7	9	社会学級生フェスティバル（ミニバレー交歓会）	実習	-	-
8	10	パンづくり	実習	不明	手作りパンの家こすもす スタッフ
9	10	社会学級生フェスティバル（手工芸作品展、音楽発表会）	その他	-	-
10	11	1ブロック交流会 道立函館美術館「写真展 岩合光昭の日本ねこ歩き」	鑑賞	-	-
11	11	函館音楽協会 秋季定期演奏会	鑑賞	-	-
12	2	閉講式	講話	阿部 辰峰	教頭

【令和5年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

本年度の活動は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、行動制限が緩和され、待ち望んでいた企画・活動を行うことができました。まずは役員のみで行っていた開講式。飲食を控えるなどの配慮をし、久々に顔を合わせる学級生同士、再開を喜び合い、明るく和気あいあいとした時間を過ごすことができました。

○鑑賞・見学等の講座

恒例の美術鑑賞は「新・山本二三展」、ブロック交流として「岩合光昭の日本ねこ歩き」の2つを鑑賞しました。学芸員の解説は毎回おもしろく、より深く展示を楽しめています。音楽分野は「函館音楽協会 秋季演奏会」鑑賞が企画され、珍しい分野の音楽に触れる時間ももてました。

○実技系の講座

毎回、学級生に人気の手芸講座ですが、今年度は初挑戦の「ミニチュアフレーム」と3年ぶりとなる「ポーセラーツ」を行いました。そして、皆のおまかせ美味しい講座「パンづくり」。大勢で集まること、場所の確保、行動制限等で今までできなかった講座を思う存分（もちろん感染対策を講じながらですけどね！）楽しみました。楽しすぎてパンづくりにいたっては、写真を撮り忘れたほどです（反省）。

手芸作品は社会学級生フェスティバルの作品展にて展示も行いました。初参加で会場設営など不慣れな面もありましたが、作る楽しみだけでなく、発表の機会を与えられ、会場に足を運ぶきっかけになり、意欲の向上に繋がったと思います。

コロナ禍の3年間は、“できない”だけではなく、どうしたら安全に安心して活動ができるのか講師の先生方の工夫や、学級生の意識の高まりがあったことと思います。来年度以降の活動においても引き続き感染対策に留意しつつ、内容を広げていきたいと思っています。



赤川小学校社会学級（学級生 11名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	海野 優	教頭
2	7	2ブロック交流会「自衛隊より学ぶ防災講座」	講話・実習実技	武田 忠男	自衛隊函館地方協力本部 募集課計画班
3	7	見学体験学習 市立函館博物館企画展 「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	-	-
4	8	腸内細菌との共生と乳酸菌の働きについて	実習実技	米坂 みゆき	ヤクルト五稜郭センター マネージャー
5	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道 国際協力推進員
6	9	社会学級生フェスティバル（バドミントン交歓会）	実習実技	-	-
7	3	閉講式	講話	海野 優	教頭

【令和5年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

7月 講座「自衛隊より学ぶ防災講座」

日時 7月15日（土）

場所 サン・リフレ函館（視聴覚室）

参加者 6名

◎自衛隊の防災に対する考えや知識を学ぶことで、命を守る大切さを再確認させてもらった。
災害時の救命活動などに、今回の実習から身近なものを使った道具を活用できることを学んだ。

8月 講座「腸内細菌との共生と乳酸菌の働きについて」

日時 8月21日（月）

場所 本通会館

参加者 7名

◎講師にヤクルト五稜郭センターマネージャー米坂氏を迎え、消化管や腸内細菌と乳酸菌シロタ株や、模型を使いおなかの中の仕組みについて学びました。腸での乳酸菌の働きを知ることができその学びを今後の生活に生かしたいと思いました。

<活動のまとめ>

本年度も、開講式から始まり腸内細菌や乳酸菌について学ぶことができました。

また、日本にいながらでもできる国際協力に関する講話を聴いたり、スポーツ交流で他学級とも交流できる講座を実施したりしました。

次年度もまた今年度のように楽しく学べる講座を企画し開設できればと思います。

中央小学校社会学級（学級生7名）

回	月	学習テーマ	学習法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	村上 兼人	教頭
2	7	2ブロック交流会「自衛隊より学ぶ防災講座」	講話・実習実技	武田 忠男	自衛隊函館地方協力本部 募集課計画班
3	7	見学体験学習 市立函館博物館企画展 「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	-	-
4	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道 国際協力推進員
5	12	ペーパークイリングでクリスマスツリーを作ろう	習熟	池田 華奈	-
6	3	閉講式	講話	村上 兼人	教頭

【令和5年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

今年度の活動は、地域住民が教養と知識・技術等を学び合う場として、学級生全員が楽しく、安全に、継続的に活動できるよう取り組みました。中でも、週に1回行うバドミントンの活動では、ゲーム形式で楽しみながらも、バドミントンの上級者に、技術的・戦術的なコツを助言してもらうことで、上達を感じられました。また、お子様を連れた学級生もおり、親子でバドミントンを楽しむ姿が見られました。

また、令和5年12月15日の13時から、中央小学校会議室で行った全体講座では、細長い紙を専用のスティックで巻き込みながら形を作り、最後に指で形を整えることで涙型のかわいい小物ができる「ペーパークイリング」に挑戦しました。

作成した小物でクリスマスツリーに飾り付けをし、家に持ち帰りました。参加者から、「小物にキラキラシールを貼るなどの自分なりの工夫がたくさんできた。」「作品は小さくて作るのが不安だったが、楽しく作り上げることができた。」「やってみると、楽しくて、たくさん作りたくなった。」などの感想が聞かれました。

学級生の中には、体調不良や仕事の関係で参加できなかった方もいましたが、来年度も取組をさらに充実するとともに、仲間が増えるよう勧誘活動にも取り組みたいと考えています。

<主な活動>

■通年講座「バドミントン」「卓球」■

○実施日 毎週水曜日 15:00～16:30 ○場所 中央小体育館

■12月講座「ペーパークイリングでクリスマスツリーを作ろう」■

○実施日 令和5年12月15日（金） 13:00～15:00 ○場所 中央小学校会議室



【講師の見本を参考に】



【自分なりに試行錯誤】



【完成した作品】



鍛神小学校社会学級（学級生 14名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	川瀬 健	教頭
2	6	平和を願い千羽鶴づくり	奉仕活動	風間 美智子	社会学級生
3	7	2ブロック交流会「自衛隊より学ぶ防災講座」	講話・実習	武田 忠男	自衛隊函館地方協力本部 募集課計画班
4	7	見学体験学習 市立函館博物館企画展 「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	-	-
5	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道国 際協力推進員
6	9	社会学級生フェスティバル（ソフトバレー交歓会）	実習	-	-
7	10	社会学級フェスティバル（手工芸作品展 体験コーナー）	実習	風間 美智子	社会学級生
8	10	ポーセラーツ体験	実習	政 佳子	工房 楽心来 代表
9	2	閉講式	講話	川瀬 健	教頭

【令和5年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

- 7月「第2ブロック交流会 「自衛隊より学ぶ防災講座」

日時：7月15日（土）9：30～11：30

場所：サン・リフレ函館 参加者：6名

- ・自衛隊函館地方協力本部の武田講師から、災害時にどのような行動をとったらよいか質問形式とDVDから学びました。新聞紙から作るスリッパやポリ袋から作るカップや紐の結び方など実技で学びました。

- 9月「社会学級生フェスティバル ソフトバレー交歓会」

日時：9月25日（月）9：30～12：00

場所：函館アリーナ サブアリーナ A B 参加者：7名

- ・ソフトバレーは鍛神小と千代田小の2校なので、混合で3チームに分かれてプレーを楽しみました。



- 10月「社会学級生フェスティバル 作品展 体験コーナー」

日時：10月26日（木）9：00～16：30

場所：亀田交流プラザ 大会議室3B 参加者：5名

- ・作品展の中で体験コーナーとして、コーヒーフィルターからバラの花を作りエコな加湿器が出来上がりました。



- 10月「ポーセラーツ体験」

日時：10月30日（月）9：30～11：45

場所：亀田交流プラザ 小会議室2 参加者12名

- ・工房“楽心来”の政講師の指導の下、それぞれ事前に選んでいた白磁器に転写シールを貼りオリジナルのテーブルウェアが完成しました。



※今年度は学級生同士の親睦の場が増えて楽しく学ぶことができました。

東山小学校社会学級（学級生 14 名）

回	月	学習テーマ	学習法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	鈴木 健二	教頭
2	6	スポーツ前後の身体をほぐすヨガ体験	実習実技	山廣 恵美	ヨガインストラクター
3	7	2ブロック交流会「自衛隊より学ぶ防災講座」	講話・実習実技	武田 忠男	自衛隊函館地方協力本部 募集課計画班
4	7	見学体験学習 市立函館博物館企画展 「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	-	-
5	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道国 際協力推進員
6	9	社会学級生フェスティバル（バドミントン交歓会）	実習実技	-	-
7	2	閉講式	講話	鈴木 健二	教頭

【令和5年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

令和5年度、東山小学校社会学級は、とても盛んに活動することができました。

6月の「ヨガ体験」では、スポーツをする前後において、メンタル面から心身共にほぐす方法を学び、体験しました。

7月には、ブロック交流会「自衛隊より学ぶ防災講座」の運営も、無事に行うことができました。事前の打ち合わせでは、身近な防災についてお話していただくこととし、参加した33名からは「勉強になり、楽しかった。」などの感想が聞かれました。

9月に行われた「バドミントン交歓会」では学級生14名全員が参加し、怪我をすることなく楽しむことができました。ここ数年で退会された学級生も応援に駆けつけ、その方々の中から、再度、学級生として入会者を迎えることもできました。

仕事を持つ方が増え、社会学級に参加できる人数は、近年少なくなっています。私たちは週に2回の活動をしています。その2回とも参加できる方は少なくなりました。しかし、それぞれが頑張って時間を作り、楽しく活動しています。今後の心配はありますが、できる限り楽しみながら続けたいと思っています。



ヨガ体験



防災講座



バドミントン交歓会

深堀小学校社会学級（学級生 18 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式・令和の日本型学校教育について	講話	保坂 大樹	教頭
2	7	大森浜海岸清掃	奉仕活動	-	-
3	7	2ブロック交流会「自衛隊より学ぶ防災講座」	講話・実習実技	武田 忠男	自衛隊函館地方協力本部 募集課計画班
4	7	見学体験学習 市立函館博物館企画展 「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	-	-
5	8	ヤドカリ入門 貝殻に潜む“駆け引き”上手たち	講話	石原 千晶	北大水産学部助教授
6	9	社会学級生フェスティバル（バドミントン交歓会）	実習実技	-	-
7	3	閉講式	講話	保坂 大樹	教頭

【令和5年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

7 月 奉仕活動 大森浜海岸清掃

《日 時》 7月1日（土）
7：00～8：00

《場 所》 大森浜 No3 エリア

《参加者》 9名

快晴，無風に恵まれた早朝の大森浜海岸清掃に参加しました。当活動も連続参加となり，拾い集める海岸のゴミで回収袋はいっぱいです。

来年度も多くの観光客が訪れる大森浜海岸清掃に取り組んでいきたいと思ひます。

9 月 実習実技 社会学級生フェスティバル バドミントン交歓会

《日 時》 9月9日（土）13：00～16：30

《場 所》 サン・リフレ函館

《参加者》 10名

他校との交流を行う交歓会を楽しむことができました。これからも，バドミントンコートに立つ緊張感と健康を維持していきたいと思ひます。

<活動のまとめ>

今後も会員同士の有意義な体験や親睦が深まる講座を考えながら実施していきたいと思ひます。

日吉が丘小学校社会学級（学級生 19名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	中田 裕治	校長
2	6	道立函館美術館「新・山本二三展」	鑑賞	-	-
3	7	2ブロック交流会「自衛隊より学ぶ防災講座」	講話・習熟	武田 忠男	自衛隊函館地方協力本部 募集課計画班
4	7	見学体験学習 市立函館博物館企画展 「外国人が見たみなとまち HAKODATE」	鑑賞	-	-
5	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道 国際協力推進員
6	10	社会学級生フェスティバル（音楽発表会）	習熟	-	-
7	3	閉講式	講話	中田 裕治	校長

【令和5年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

今年度はコロナウイルス感染症も5類に移行となり、人の動きが活発になる中、開講式では、マスク・消毒などで十分に気を付けながら活動していこうと確認し合いました。

ブロック交流会では、「自衛隊に学ぶ防災講座」に参加し、自衛隊の活動を通して災害の多さを実感し、改めて災害に対しての備えが重要だと感じました。また、新聞紙のスリッパやビニール袋の合羽を作り、楽しく学びました。

社会学級生フェスティバル「音楽発表会」では、タイムスケジュール作り・会場設営などを、桔梗小学校の役員の方も協力してくださったおかげで、無事に終える事ができました。

発表曲が同じというハプニングも、合同曲にする事で、ボリュームもあり、女声三部合唱楽しんでもらえたと思います。

最後に皆楽曲「上を向いて歩こう」を会場の方と一緒に歌い、和やかに閉会しました。

コロナウイルスに加え、インフルエンザなども流行している今、今後も更に気を付けながらも、楽しく活動していきたいと思います。

旭岡小学校社会学級（学級生 10 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	6	開講式	講話	高井 真浩	校長
2	7	2ブロック交流会「自衛隊より学ぶ防災講座」	講話・実習	武田 忠男	自衛隊函館地方協力本部 募集課計画班
3	9	社会学級生フェスティバル（開会式・講演会）	講話	戸澤 里美	JICA 北海道国 際協力推進員
4	10	展示会見学および西部地区散策	鑑賞・見学	-	-
5	11	地域における環境整備の奉仕活動	奉仕活動	-	-
6	12	閉講式	講話	高井 真浩	校長

【令和5年度の活動を振り返って】

旭岡小学校社会学級は、コロナ禍の影響により令和元年度以来4年ぶりに開講いたしました。このため、サークル活動も4部（バドミントン・卓球・ソフトバレー・囲碁）から卓球部のみとなり、学級生も大幅に減り10名となりました。

開講期間は6ヶ月あまりでしたが、その活動は充実したものでした。

<事業の紹介>

本年度行われた主な講座は次のとおりです。

○7月15日（土）

自衛隊主催の防災講座で津波・大雨洪水対策や災害時に役立つ防災用品の作成、身近なものを利用した防災グッズの工夫、安全な避難方法について学びました。

○10月21日（土）

道新文化センター受講生の絵画・生け花・ガラス工芸・刺しゅう等の作品を鑑賞し、その素晴らしさに感嘆しました。その後、工芸社の陶器鑑賞と西部地区の歴史的建造物を見ながら散策いたしました。

○11月18日（土）

旭岡地区の住民が利用する2丁目集会所周辺の歩道や公園内に大量の落ち葉が山積しており、学級生全員の協力のもと清掃作業を行いました。

<まとめ>

学級生の減少が進む中、高齢化は年々進んできておりますが、その活動は活発で、皆元気に頑張っております。また、十字街バル街の参加や忘年会等を行い、学級生の交流も深めております。今後におきましても、学校、地域と関わりながら、健康に留意しつつ、魅力ある学級づくりに努めていきたいと思っております。

4 ブロック交流活動（函館市社会学級生連絡協議会事業）

第1ブロック交流活動

担当校：八幡小学校社会学級

ブロック交流活動推進委員：赤塚 留美子

1 活動テーマ

「写真展 岩合 光昭の日本ねこ歩きを鑑賞しよう！」

2 活動のねらい

- (1) 第1ブロックの学級生の交流と親睦を深める
- (2) NHK BSプレミアムの長寿番組「岩合 光昭の世界ねこ歩き」から厳選された写真を鑑賞し国内各地の風土を背景にネコとヒトの暮らしぶりに注目して作者の想いに理解を深める。

3 活動計画

- 5月中旬 企画内容決定
10月17日 各学級へ案内文書送付
11月 2日 「写真展 岩合 光昭の日本ねこ歩き」鑑賞実施

4 活動学級名と参加者数

・千代田小 2名 ・本通中 2名 ・八幡小 2名 ・桔梗小 5名

合計 11名

5 活動内容

- ・日時 : 令和5年11月2日(木)
- ・場所 : 道立函館美術館
- ・内容 : 大下学芸課長より展示作品についてネコと同じ目線で撮っていること、シャッターチャンスに時間をかけて待つ居る事などの解説を受け理解を深めた。
その後自由鑑賞し各学級同士で交流した。

6 参加者の感想

- ・猫の表情がどれも可愛く撮れていた。岩合氏のネコに対する愛情が作品から感じ取れた。
- ・風景の中でネコがどこにいるのか探しながら見るのも楽しかった。

7 まとめ

- ・学級の講座と重なり参加できなかった学級が有り残念であったが、参加学級生が楽しく鑑賞しながら交流できて良かった。

第2ブロック交流活動

担当校：東山小学校社会学級

ブロック交流活動推進委員：倉崎 由衣子

1 活動テーマ

「自衛隊より学ぶ防災講座」

2 活動のねらい

- (1) 災害における自衛隊の活動を知る。
- (2) 身近に起きる災害にどう対応するのか、学級生同士で交流しながら学ぶ。

3 活動計画

- 5月23日 自衛隊に問い合わせる。
- 6月14日 自衛隊に講座依頼文を提出し打ち合わせを行う。
- 7月15日 防災講座実施

4 活動学級名と参加者数

- ・赤川小 6名 ・中央小 1名 ・鍛神小 6名 ・東山小 2名
- ・深堀小 7名 ・日吉が丘小 6名 ・旭岡小 5名

合計 33名

5 活動内容

- ・日時 : 令和5年7月15日(土)
- ・場所 : サン・リフレ函館 視聴覚室
- ・内容 : 自衛隊函館地方協力本部 募集課計画班 武田 忠男 氏より災害時の活動、災害時の対処法を講座と実技から学んだ。

6 参加者の感想

- ・実技—新聞紙で作るスリッパ等、家庭や地域の人たちに伝えようと思う。
- ・いざという時の備えになるような充実した内容を学んだ。

7 まとめ

- ・自衛隊の災害時の活動について興味深く、感謝を持って聞いた。
- ・函館市内の災害に係る標識、避難場所、災害時の活用法など多く学んだ。
- ・新聞紙やごみ袋を利用した実技は有益かつ皆で交流しながら楽しくできた。

5 見学体験学習（函館市社会学級生連絡協議会事業）

社会学級生連絡協議会 実行委員企画 見学体験学習 2023

実行委員 風間 美智子

1 テーマ

市立函館博物館の企画展「外国人が見たみなとまちHAKODATE」と他常設展等を見学する。

2 目的

- (1) 社会学級活動として、郷土の歴史、文化財や資料を見学し知識を高める。
- (2) 社会学級生相互の理解を深めるため交流し、日頃の活動の向上、活性化を目指す。

3 日程

令和5年7月26日（水）10:30～11:30 （市立函館博物館前 10:20 集合）

4 活動計画

- 5月15日 第1回連絡協議会にて企画提案
- 6月30日 各学級へ内容案内を送付～申込み先 実行委員
- 7月14日 申込み締切 参加人数 市立博物館見学（35名）
- 7月10日 第2回連絡協議会にて日程・見学内容等を確認
- 7月26日 見学体験学習 2023 実施

*注意事項 ～ マスク着用は任意であるが、なるべく着用する。



5 参加学級名・参加者数

千代田小 1名、本通小 5名、八幡小 3名、桔梗小 6名、赤川小 3名、
中央小 1名、鍛神小 5名、深堀小 2名、日吉が丘小 6名、旭岡小 3名

合計 35名

6 感想

開港当時の箱館の様子や住民の暮らしを興味深く関心を持って観ている外国人の視点が良く分かった。

現代の私共からも当時の生活がしのばれ、興味深く見学した。特にイザベラ・バードの旅行記述は、外国人女性が一人で蝦夷地を旅することに大変驚いた。

◎暑い夏であったが天候に恵まれ、博物館の見学は興味深く学び、函館公園の中は緑豊かで気持ち良く散策できた。



◎今年度も学級生同士が交流しながら、地域の歴史を学び、当時から外国人が多く居留し、日本の暮らしにどのような関心をもっていたのか知ることができた。

6 函館市社会学級生連絡協議会

(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員

	1ブロック	2ブロック
企画運営 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・赤塚 留美子【八幡小】 (副委員長) ・浜 ひさ子【桔梗小】 (会計・書記兼任) 	<ul style="list-style-type: none"> ・風間 美智子【鍛神小】 (委員長) ・原田 由紀子【中央小】 (副委員長) ・倉崎 由衣子【東山小】 (会計・書記兼任)
会計監査	<ul style="list-style-type: none"> ・野澤 信子【青柳小】 	<ul style="list-style-type: none"> ・多田 成敏【深堀小】
ブロック交流 活動推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・赤塚 留美子【八幡小】 	<ul style="list-style-type: none"> ・倉崎 由衣子【東山小】

(2) 活動報告

連絡協議会の開催		
第1回	5月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度決算等の報告 ・今年度の運営方針・事業内容等の決定
第2回	7月10日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学級生フェスティバル等について協議 ・見学体験学習・ブロック交流活動について
第3回	11月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業実施状況の報告 ・「社会学級活動のまとめ」原稿作成について依頼 ・次年度の役員体制について協議
第4回	2月19日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・2月以降の講座実施報告書の提出について ・「社会学級活動のまとめ」作成について ・次年度の企画運営委員・ブロック交流活動推進委員について
監査会	3月21日(木)	社会学級生連絡協議会の会計監査
企画運営委員会の開催		
第1回	5月15日(月)	今年度の役員の決定
第2回	6月29日(木)	第2回連絡協議会について協議
第3回	11月8日(水)	第3回連絡協議会について協議
第4回	2月2日(金)	第4回連絡協議会について協議
第5回	3月21日(木)	次年度の活動計画等について協議

社会学級生フェスティバル実行委員会の開催			
第1回	7月10日(月)	各部会ごとに協議	
第2回 (反省会)	11月13日(月)	各部会の開催・参加状況について	
ブロック交流会の開催			
ブロック	担当校	実施日	内容
1	八幡小	11月2日(木)	テーマ：写真展 岩合 光昭の日本ねこ歩きを鑑賞しよう！ 会 場：道立函館美術館
2	東山小	7月15日(土)	テーマ：自衛隊より学ぶ防災講座 会 場：サン・リフレ函館
見学体験学習の開催			
実施日		内容	
7月26日(水)		テーマ：市立函館博物館の企画展「外国人が見たみなとまちHAKODATE」と他常設展等を見学する。 会 場：市立函館博物館	

(3) 事業報告

社会学級生フェスティバル

開 催 趣 旨	社会学級生の日頃の活動や成果等を発表し、交流を深めるとともに、広く市民に社会学級の取り組みを紹介し、参加を促すことを目的として開催する。		
開催内容・日時・会場・参加人数等			
開会式・講演会	9月4日(月) 10:00~11:15	市民会館 小ホール	社会学級生 66名 一般 6名
バドミントン交歓会	9月9日(土) 13:00~16:30	サン・リフレ函館	4学級(本通小, 赤川小, 東山小, 深堀小) 42名(応援見学者 9名)
ミニバレー交歓会	9月25日(月) 10:00~12:00	函館アリーナ サブアリーナ	2学級(本通小, 桔梗小) 12名
ソフトバレー交歓会	9月25日(月) 10:00~12:00	函館アリーナ サブアリーナ	2学級(千代田小, 鍛神小) 13名
音楽発表会	10月26日(木) 14:00~15:00	亀田交流プラザ 講堂 1, 2	2学級(桔梗小, 日吉が丘小) 31名(ほか指揮・ピアノ4名, 来場者 85名)
手工芸作品展	10月26日(木) 11:00~16:30	亀田交流プラザ 大会議室 3-B	3学級(本通中, 鍛神小, 桔梗小) 37名(来場者 48名)

7 社会学級クラブ活動一覧

令和5年5月15日現在

	クラブ名	学級名	人数	学級名	人数	学級名	人数
スポーツ	バドミントン 6学級 69名	本通小	21	八幡小	9	赤川小	9
		中央小	3	東山小	12	深堀小	15
	ソフトバレー 2学級 18名	千代田小	10	鍛神小	8		
	卓球 2学級 13名	中央小	3	旭岡小	10		
	ミニバレー 2学級 15名	本通小	5	桔梗小	10		
	スポーツクラブ合計	115名		学級生全体に占める割合		68.8%	
文化	合唱・コーラス 2学級 32名	桔梗小	15	日吉が丘小	17		
	手芸 2学級 14名	青柳小	7	本通中	7		
	ボランティア 1学級 6名	鍛神小	6				
	文化クラブ合計	52名		学級生全体に占める割合		31.1%	

※学級生数=167名 (R5. 5. 15 現在)

バドミントン 69名(60.0%) ソフトバレー 18名(15.7%) 卓球 13名(11.3%) ミニバレー 15名(13.0%)



スポーツクラブ全体 115名

合唱・コーラス 32名(61.5%) 手芸 14名(26.9%) ボランティア 6名(11.6%)



文化クラブ全体 52名

8 函館市社会学級生連絡協議会規約

(名 称)

第1条 この会は、函館市社会学級生連絡協議会と称する。

(事務所)

第2条 この会の事務所を函館市教育委員会事務局内におく。

(目 的)

第3条 この会は社会学級の発展を図るため、情報交換等により社会学級の運営について研究し、あわせて家庭・社会生活の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 前条の目的達成のため、次の活動を行う。

- (1) 運営・活動状況の交換および研究資料の収集
- (2) 社会学級合同の講座交歓会、その他行事の開催
- (3) その他本会の目的達成に必要な事項

(会 員)

第5条 この会は、社会学級の代表2名以内の委員をもって組織する。

(役 員)

第6条 この会に次の役員をおく。

- | | |
|--------|-----------------------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 2名 |
| 企画運営委員 | ブロックから1名（うち書記2名、会計2名） |
| 会計監査 | 2名 |

(役員を選出)

第7条 役員を選出は次のとおりとする。

- (1) 会長および副会長は原則として、前年度企画運営委員の中から、年度当初の例会において選出する。
- (2) 会長および副会長は、企画運営委員会の委員長および副委員長を兼務する。
- (3) 企画運営委員は、ブロックごとに1名を互選する。
- (4) 書記・会計は、企画運営委員の中から選出する。

(役員任期および任務)

第8条 役員任期は1年とし、再任をさまたげない。任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 企画運営委員は、企画運営委員会を構成し、会務の執行を決定する。
- (4) 書記は、この会の書記を担当する。
- (5) 会計は、この会の会計を担当する。
- (6) 会計監査は、この会の会計を監査する。

(会 計)

第9条 この会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。この会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

(会 議)

第10条 この会は次の会議を設ける。

- (1) 例会
- (2) 企画運営委員会

第11条 例会は、会員をもって構成し、次の事項を議決する。

- (1) 規約の改廃
- (2) 役員の変更
- (3) 事業の計画の決定
- (4) 事業報告の承認
- (5) 収支予算の決定
- (6) 収支決算の承認
- (7) その他重要事項

2 例会は、年4回とし会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた時は、臨時会を開催することができる。

第12条 企画運営委員会は、次の事項を決定する。

- (1) 例会の議決した事項の執行に関する事。
- (2) 例会に付議すべき事項に関する事。
- (3) その他例会の議決を要しない会務の執行に関する事。

2 企画運営委員会は、会長が必要と認めたとき、または企画運営委員の3分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき開催することができる。

第13条 この規約は、年度当初の例会において変更することができる。

(相談者)

第14条 この会に相談者をおく。

教育委員会の職員と社会学級主事は、社会学級等の企画運営にあたって相談に応じる。

付 則

- この規約は、昭和36年7月26日から施行する。
この規約は、昭和38年6月11日から施行する。
この規約は、昭和57年4月1日から施行する。
この規約は、昭和59年4月26日から施行する。
この規約は、平成元年4月27日から施行する。
この規約は、平成8年5月17日から施行する。
この規約は、平成12年5月10日から施行する。
この規約は、平成15年5月28日から施行する。
この規約は、平成18年5月16日から施行する。
この規約は、平成24年5月16日から施行する。
この規約は、平成25年5月15日から施行する。

※ 申し合わせ事項

- (1) 企画運営委員の選出にあたってはブロック内で特定の学級に偏らないよう配慮する。
- (2) 会長および副会長1名は、前年度の最終の企画運営委員会で内定し、次年度の第1回連絡協議会において報告し、承認を受ける。
- (3) 各種交歓会は希望学級の参加により開催するものとし、参加人数が足りず単独学級で参加出来ない場合は足りない学級と合同で参加することができる。

9 社会学級のあゆみ

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1945 (昭和20)	<p style="text-align: center;"><社会学級の創出></p> 若松小学校が社会学級を開設する (北海道庁の指定校となる) 常盤、八幡小学校が社会学級を開設する 若松、常盤小学校が文部省指定校となる 社会学級の学級数が小学校19、中学校5の 24学級となる 市川房枝氏を講師に、社会学級の合同講演会を 開催する	第二次世界大戦終戦
1946 (昭和21)		婦人教養施設「母親学級」の 委嘱
1947 (昭和22)		文部省「父母と先生の会」設置 に関する資料配付
1948 (昭和23)		社会学級開設委嘱の開始
1949 (昭和24)		社会教育施行令公布、小中学校 で社会学級が始まる
1952 (昭和27)		
1953 (昭和28)		
	<社会学級の整備>	
1954 (昭和29)	教育委員会が社会教育方針に「社会学級の発展 助長」を挙げ、社会教育資料「各社会学級講座 運営計画書」を紹介する 若松小学校が文部省指定校となる	
1955 (昭和30)		第1回日本母親大会が開かれ る テレビが普及する
1960 (昭和35)	青柳小学校社会学級が文部省指定校となる	
	<社会学級の充実>	
1961 (昭和36)	函館市社会学級生連絡協議会が発足する (社会学級数33) 研修旅行を学習に取り入れる 全市合同社会学級レクリエーション大会を開催 する 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催 する	高校全員入学問題全国協議会 が結成される
1962 (昭和37)	第1回社会学級生グループ作品展を丸井今井 デパートで開催する 全市合同研修会を板東義憲氏、渡辺 茂氏を講師 に労働会館で開催する	家庭教育の振興策として国庫 補助事業が始まる
1964 (昭和39)	常盤小学校社会学級が市研究指定校となる 道徳教育充実のため、学校教育との連携を重視 する	
1965 (昭和40)	社会学級の当面する諸問題について意見交換 する	全国子供連合会の設立 中教審が「期待される人間像」 草案を発表する
1966 (昭和41)	家庭および地域環境の健全化と青少年指導の 徹底に努める	

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1967 (昭和42)	第1回社会学級生コース交歓会を開催する (社会学級数39/2, 352名) 社会学級の課題として「学級運営のあり方」を取り上げる	
1969 (昭和44)	第1回社会学級生スポーツ交歓会を開催する	
	<社会学級の充実発展>	
1971 (昭和46)		社会教育審議会が「急激な社会構造の変化に対応する社会教育のあり方」について答申する 「主婦の生きがい論」の思潮が起きる
1973 (昭和48)	「家庭教育の手引き」を発行する	オイルショックが起きる
1975 (昭和50)		国際婦人年
1976 (昭和51)	社会学級研究会を開催する(婦人の立場を見直しながら40代からの生きがいを考える・親と子のあり方, しつけを考える・子どもの生活環境と学習塾を考える・子どもの遊び, 自然との関わりを考える・子どもの進路指導を考える)	国連国際児童年に関する決議がされる
1978 (昭和53)	社会学級生と青少年問題委員との懇談会が開催される	
1981 (昭和56)	研究主題「主体的な活動を求めて」を掲げ, 社会学級の原点を見つめ直す	国際障害者年
1982 (昭和57)		女性による老人問題シンポジウムが開かれる
1986 (昭和61)	社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 人生観, 社会学級観, 学習意識等について)	教育改革に関する第二次答申
1987 (昭和62)	社会学級生グループ作品展の会場を市役所に移して開催する(社会学級数52, 社会学級生数4, 169名)	教育課程審議会が「学校教育における生涯学習の基礎の育成について」が答申される
1988 (昭和63)		昭和63年教育白書に「生涯学習の新しい展開」が示される
1989 (平成元)	社会学級生グループ作品展の会場を丸井デパートに移して開催する	消費税導入(3%)
1990 (平成2)	社会学級セミナーで「社会学級のあり方」を取り上げる 社会学級生グループ作品展の会場をテオー小笠原に移して開催する(16学級が出品)	
1991 (平成3)		中教審が「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」答申する
1992 (平成4)	スポーツ交歓会にミニバレーが加わる	第1回生涯学習フェスティバルが千葉市で開催される 学校週5日制実施

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1993 (平成5)	スポーツ交歓会にソフトバレーが加わる	第1回フォーラム家庭教育が開かれる
1994 (平成6)		児童の権利条約が日本国内で発効される
1997 (平成9)	社会学級主事会が発足する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「共に学び豊かな心を」を作成する 社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 学級運営, 学習認識, クラブ活動, 人間関係について) 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催する	消費税が5%になる 拓銀倒産
1998 (平成10)	スポーツ交歓会(ソフトテニス)の会場をサン・リフレ函館に, 音楽発表会の会場を芸術ホールに移して開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館の街なみと体験学習」を作成する	長野オリンピック開催
1999 (平成11)	初となる見学体験学習を実施する(青森市/90名) 初となるブロック交流活動を行う 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」を作成する	
2000 (平成12)	親子ふれあい体験学習を函館公園で実施する 「社会を明るくする運動」で法務大臣より感謝状を受ける 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだての伝説と昔話」を作成する	
2001 (平成13)	見学体験学習を実施(ニセコ/80名) 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館・歴史・時代」を作成する	
2002 (平成14)	見学体験学習を実施(江差/78名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだて港物語」を作成する	サッカーワールドカップ日韓同時開催
2003 (平成15)	見学体験学習を実施(渡島東部/45名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催する	
2004 (平成16)	見学体験学習を実施(大沼公園 45名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」の一部見直しを行う 社会学級の現状把握のためのアンケート調査を実施する	駒大苫小牧高校が北海道勢として史上初の甲子園優勝 新潟県中越沖地震発生 道内の自治体で初の市町村合併, 函館市・戸井町・南茅部町・恵山町・楳法華町の1市3町1村が合併, 函館市となる

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2005 (平成17)	見学体験学習を実施（三内丸山遺跡／27名） 市民体育館工事のため、社会学級生フェスティバルを芸術ホール、青年センター、小学校体育館、サン・リフレ函館で開催する 西部地区で一般市民向けの社会学級体験講座を初めて実施する（高盛小／10名）	愛知万博開催 兵庫県尼崎市でJR福知山線脱線事故が発生 駒大苫小牧高校が甲子園連覇
2006 (平成18)	見学体験学習を実施（江差／45名） 社会学級60周年記念、社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プール、サンリフレで開催する 社会学級開設60周年記念祝賀会をホテルオークランドで行う（76名）	トリノオリンピックで荒川静香選手がフィギュアスケートで日本人初の金メダル獲得 教育基本法改正
2007 (平成19)	見学体験学習を実施（八雲／52名） 社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館で開催する	中空土偶が北海道初の国宝に指定される
2008 (平成20)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施（知内／48名）	
2009 (平成21)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施（旧4町村／46名） 社会学級あゆみ展を中央図書館で開催する	函館開港150周年
2010 (平成22)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施（森／52名）	根岸英一教授と鈴木章名誉教授がノーベル化学賞を受賞
2011 (平成23)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施（縄文文化交流センター／73名）	東日本大震災発生
2012 (平成24)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施（市内西部地区／50名）	京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞
2013 (平成25)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施（市電乗車体験・見学／39名）	2020年の夏季オリンピックの開催地が東京に決定 富士山が世界文化遺産に決定
2014 (平成26)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施（市内・七飯町／44名）	消費税が8%になる 五稜郭築造150周年
2015 (平成27)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、函館アリーナ、市民プールで開催する 見学体験学習を実施（恵山・榎法華／26名）	函館アリーナ供用開始 大村智名誉教授がノーベル生理学・医学賞を、梶田隆章教授がノーベル物理学賞を受賞

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2016 (平成28)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，亀田福祉センター，函館アリーナ，市民プール，サン・リフレ函館，遺愛女子高校で開催する 見学体験学習を実施（七飯／45名）	北海道新幹線開業 初のフルマラソンとハーフマラソンを併せ，函館マラソン開催 リオデジャネイロ・パラリンピックで辻沙絵選手と池崎大輔選手がそれぞれ銅メダルを獲得
2017 (平成29)	社会学級生フェスティバルを市民会館，サン・リフレ函館，函館アリーナ，芸術ホールで開催する	
2018 (平成30)	社会学級生フェスティバルを函館アリーナ，芸術ホール，駒場小学校体育館で開催する	北海道命名150周年 北海道胆振東部地震発生
2019 (平成31 ／令和元)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／74名，ロープウェイ／44名） 社会学級生フェスティバルを函館競輪場テレシアター，函館アリーナ，芸術ホール，旭岡小学校体育館，函館サンリフレで開催する 新型コロナウイルス感染症予防のため，2月25日から3月31日までの全ての社会学級活動を停止	新元号「令和」施行 「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産の国内推薦候補に選定 新型コロナウイルス感染症が発生
2020 (令和2)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会学級を1年間休止	亀田交流プラザ供用開始 全都道府県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令
2021 (令和3)	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令により，5月18日から6月20日まで，ならびに8月28日から9月30日まで社会学級を休止	「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産に登録 1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催 パラリンピックで池崎大輔選手が銅メダルを獲得
2022 (令和4)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／48名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催する	民法改正により成年年齢が20歳から18歳へ引き下げ 函館市市制施行100周年記念式典挙行
2023 (令和5)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／35名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催する	新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類に移行 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が36年ぶりに北海道で開催（函館：ハンドボール，自転車競技）